

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

国立大学法人東海国立大学機構（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	A A A
格付の見通し	安定的
債券格付	A A A

■格付事由

- (1) 名古屋大学と岐阜大学を設置する国立大学法人。機構は、世界と伍する研究大学を目指す名古屋大学、地域の中核大学を目指す岐阜大学、それぞれの活動をサポートするとともに、両大学連携による事業を整備、拡充する役割を担う。糖鎖研究をはじめ両大学が優位性を持つ分野を結集させた連携拠点支援事業や、アカデミックセントラルなどの基盤整備事業を進め、統合効果を創出している。これらにより、機構は「知とイノベーションのコモンズ」の実現を目指す。大学、大学院の学生獲得力、ならびに社会への人材輩出力は強く、外部資金の獲得力も国内屈指の実績を誇る。24年に特定国立大学法人として運営方針会議を設置した。
- (2) 国立大学法人制度の安定性に変化はない。しかし、物価や賃金が上昇傾向にある中、運営費交付金の措置は十分ではなく、事業環境は厳しい。当面の国の支援策、第5期中期目標期間に向けた運営費交付金のあり方は注目点となる。一方、機構は、両大学の豊富な経営資源を活用した展開を進めており、両大学の自律的な成長と統合効果の創出が見込まれる。財務戦略と資源配分の高度化も相まって、引き続き、事業成長が図られるだろう。格付は法人個別の状況に加え、国等による信用補完効果を織り込んで総合的に判断している。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 機構は経営、両大学は教学に対する責任を負う。機構は、全国有数の予算規模を活かした資源配分を行っており、両大学へ基盤的経費を配分しつつ、機構全体の戦略事業へ重点配分している。糖鎖研究を筆頭に官民双方の研究資金の受入を増やすなど、外部資金の獲得実績は良化傾向にあり、財の循環が図られている。足元では、CFOの設置などにより財務体制を強化し、エンダウメント拡大や知的資産の価値最大化にも注力している。また、国際卓越研究大学制度など両大学の方向性に合致する政策への対応も進めている。
- (4) 両大学の附属病院は、特定機能病院や医師養成機関として重要な役割を担う。国立大学病院の収益環境が厳しさを増す中でも、両大学ともに収支を維持している。臨床指標の改善やコスト抑制などを進める成果とみられる。当面は大規模な再開発計画もなく、着実な債務償還が見込まれる。一方、継続的な支出負担の増加が予想され、環境の好転は見通しづらい。今後の診療報酬改定をはじめ国の支援策の実効性を見定めていく。

（担当）殿村 成信・安部 将希

■格付対象

発行体：国立大学法人東海国立大学機構

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AAA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回国立大学法人東海国立大学機構債券	100億円	2023年6月2日	2043年6月2日	1.187%	AAA

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 11 月 27 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「財投機関等の格付方法」(2020 年 5 月 29 日)、「国立大学法人」(2022 年 8 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 国立大学法人東海国立大学機構
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル